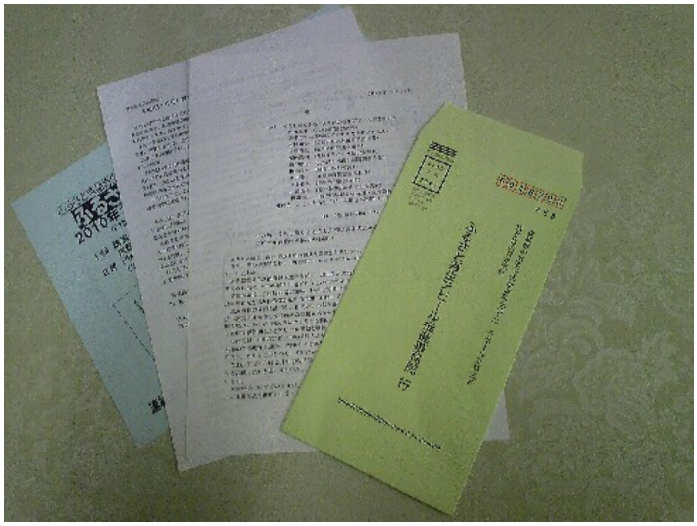
ふるさと再生アピール推進ニュース

No。1　　2010年1月6日
ふるさと再生アピール推進事務局　(075-801-8186・京都自治労連気付)

ふるさと再生へ賛同要請運動はじまる



12月22日、呼びかけ人が参集し、アピールを最終確認。府政記者クラブで記者会見を行いました。

そしていよいよ賛同要請運動の開始。自治体関係者やまちづくり運動のリーダーに呼びかけます。

事務局でも25日に元・現議員、伊根・網野の合併時の住民投票受任者、NPOの代表者など788人に要請文書を発送しました。各呼びかけ人もそれぞれの分野での賛同を広げるべく「賛同要請セット」を持って呼びかけを広げていただいています。

各地域や団体でも呼びかけ対象者の名簿を整備し、要請を広げて下さい。

呼びかけセットは事務局にご請求下さい。

名簿をいただき事務局で発送することも可能です。

（左が「賛同要請セット」）

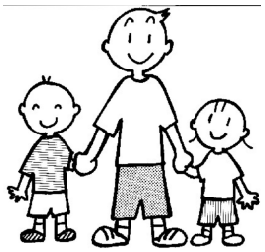
早速回答書がかえってきてます

新年から次々と回答書がかえってきてます。
回答書にはふるさとに寄せる思いが綴られています。

住民不在、住民の暮らしを軽んずる政治を、住民が主人公の自立のまちづくりに変えることが必要です。

医療・福祉・保健の連携、地元の農業・商業を大切にした産業づくり、弾薬庫を撤去して安全で平和なまちづくりをしていきたいと思います。

精華町議会議員
坪井　久行さん



「住民の主体的・民主的な力量のアップ」21世紀の変革の方向と思います。「住民自治」が政治を変えることが課題と思われます。今までのような他力本願、政治たよりの流れは終わったと思います。「学び考え、人との交流、行動する」ことで一歩ずつ変革していこうと考えています。

現在、「食の自給率アップ」「農業再生」に向け、米粉事業を進めています

農家レストランサラサ
坂本明久さん

○議会での「地域協議会」の提案中で、地域力・集落　自治の「崩壊」を実感している。与謝野町でも 「地域協議会」設置へ頑張りたい。
○地域の町内で、まつり屋台の責任者をしている。その６年間、集落・地域での自治のあり方と再生に努力しています。
また、屋台の巡航を復興し、毎年巡航を続けています。

与謝野町議会議員　伊藤　幸男さん

京都・ふるさと再生アピールの成功を目指す

地方自治擁護　ふるさと再生住民のつどい

2010年1月31日　場所：京都農協会館

午後１時３０分開会　　602～604会議室